

領域：	パブリック、ビジネス		
テーマ：	環境と経済		
担当者名：	島本 憲一		
開講時期：	前期：火曜 4・5・6 限	募集定員：	25 名
内容：	環境・経済・経営・公共というフレームの中で、調査・研究・企画を行うテーマをグループで自由に設定し、それについてサポートする。 また、同フレームに関連する重要なトピックと調査・研究・企画を進める際の課題・留意点・方法についてディスカッション等をベースにサポートを行う。		
到達目標：	(1) 科目における到達目標 2 年生：主に企画の効率的な進め方、問題意識の醸成 3 年生：主に学習成果の応用力 4 年生：主に社会人としての取り組み方 (2) カリキュラム・マップにおける到達目標 A 経済学分野の知識を学び、経済的視点から課題解決を行う方法を身に付ける B 経営学分野の知識を学び、経営的視点から課題解決を行う方法を身に付ける D 公共政策に関わる知識を学ぶ E コミュニケーション力、コラボレーション力、プレゼンテーション力を身につける F ロジカルシンキング、クリティカルシンキング、を身につけ問題解決力を養う I 事業継承を行うために必要な素養、知識を学ぶ (3) この授業で習得・向上できる社会で役立つ能力 ・ 自律的に思考し行動する力 ・ 論理的に思考する力 これ以外に、新しい発想や独自の企画を創造する力、情報を整理・分析する中で問題発見・解決する能力等も促進する。		
講義方法：	基本的にはプロジェクト形式。チームでの研究が主体。 ディスカッション、個人ワークやチーム研究におけるフィードバックを行う。		
準備学習：	授業の内容やグループでの調査・研究・企画内容について、2 時間を目安に予復習することを心がけてください。		
成績評価：	プレゼンテーションとプロジェクトの進め方等を総合的に勘案して評価。 目安は、プレゼンテーションが 60%、進め方（取り組み）が 40%。 なお、出席が 3 分の 2 以上必要。		
欠席基準：	出席が 3 分の 2 以上必要。		
講義構成：	環境と経済について、基本的に、以下の講義構成となる。 1. テーマの設定（1-3 週）、2. 情報収集（4-5 週）、3. 企画の作成（6-13 週）、4. プレゼンテーション（14-15 週）		
履修条件：	特定になし。		
推奨科目：	特になし。「環境と社会」または「地球環境政策」の科目とは関連性あり。		
選考方法：	抽選		
備考：	自らの力で自身の関心事を追求できる人材が望ましい。		
説明会：	特になし。		